施工・取扱説明書

保存用

品　番	DOL-2989YB・DOL-2989YS・DOL-2989YW

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

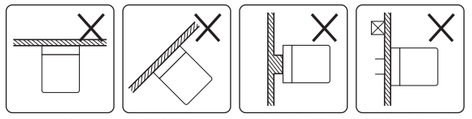
お客様へ

- ●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店･工事店にご依頼ください。
- ●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●本説明書は大切に保管してください。

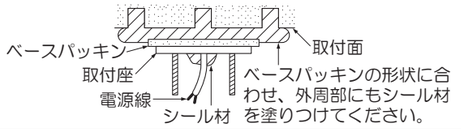
安全上のご注意

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守
この器具は壁面取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災･落下の原因となります。

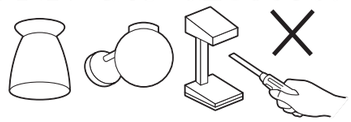


禁止
器具取付面は、ベースパッキンの大きさ以上の平らな面に仕上げてください。火災･感電･故障の原因となります。



厳守
この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域には取付けないでください。早期に錆･腐食などが生じ、火災･感電･落下の原因となります。

分解禁止
器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。



厳守
器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。

厳守
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災･感電の原因となります。

アース工事
アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

禁止
火気等の近くでは、使用しないでください。火災･感電･落下の原因となります。

厳守
煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

禁止
器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守
電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意
照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は販売店･工事店での点検をおすすめします。)

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
- ・ランプが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・スイッチは正常に切り替りますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・可動部は異常なく動作しますか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃　器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木･竹･籐 布･和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグロープは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間（月～土曜）9：00～17：00日曜 祝祭日は受付しておりません。

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

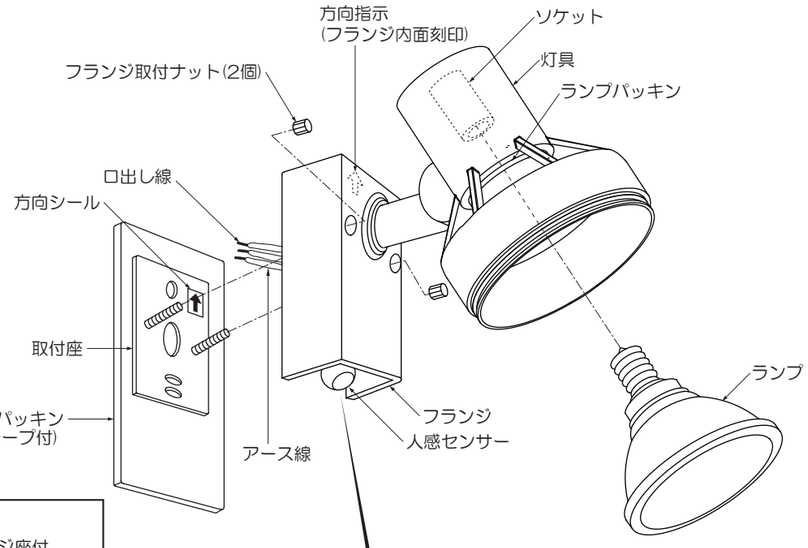
仕様

●屋外壁面取付専用器具です。
●防雨形器具です。
●木ネジ(2本)取付専用器具です。
●ON/OFFタイプⅠ人感センサー付です。
●調光器との併用はできません。
●適合ランプ以外の使用はできません。
●絶縁台別売。(DP-11805)

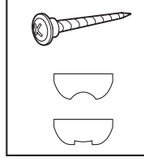
品番	DOL-2989YB・DOL-2989YS・DOL-2989YW
定格電圧	交流　100V
消費電力	87W
適合ランプ	ビーム球 110V　75W～100W×1灯　E26
器具重量	約1.6kg
電源接続	口出し線

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

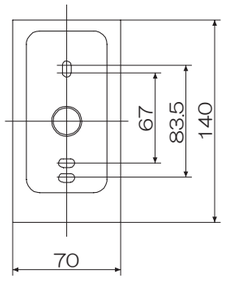


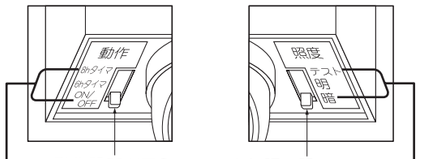
付属部品



取付寸法

単位：mm





動作設定ツマミを動かすことで「ON/OFF」、「6hタイマ」、「8hタイマ」の3つのセンサーモードが設定できます。

点灯照度設定ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさの設定と検知エリア確認(テストモード)ができます。

⚠ 警告

この器具は防雨形器具です。湿気の多い場所や浴室･サウナで使用しないでください。火災･感電の原因となります。

取扱説明 | お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1．周囲が暗くなると6hタイマーモードの時は6時間、8hタイマーモードの時は8時間の点灯状態の後、消灯状態になります。ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。
	2．人を検知すると点灯状態になります。
	3．約60秒間点灯した後、消灯状態になります。
	4．周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1．周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

●強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)
●検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。
※人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

ランプ交換方法

⚠ 警告　必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電･やけどの原因となります。

●ちらついたり、つかなくなったランプ(寿命で切れたもの等)は、すみやかに下記の手順で交換してください。

❶ ランプを交換する

●ランプをソケットから取外してください。
●灯具にランプパッキンが付いているか確認のうえ作業してください。
●適合ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。

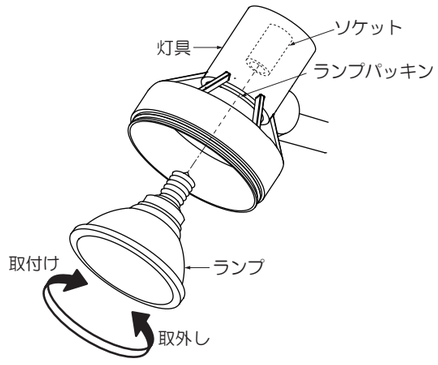
⚠ 警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下･絶縁不良･不点･接触不良の原因となります。

⚠ 注意

点灯中や消灯直後はランプが高温になっていますのでさわらないでください。やけどの原因となります。



※適合ランプ以外の使用はできません。

ご使用上のご注意

●室内スイッチ･ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
●ランプ交換、または掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
●検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じで反応するもので、故障ではありません。)
●季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
●人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまったりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下･変質･変色の原因となります。
●ランプの取扱いは、交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
●故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	照明器具	●ランプが切れていませんか？ ●適合ランプを使用していますか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていませんか？

●センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

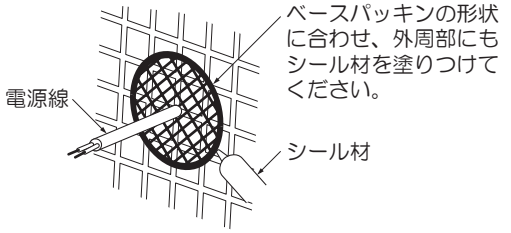
施工説明

❶ 取付け前の注意事項について

●ベースパッキンが密着する平らな面に取付けてください。

⚠ 警告

凹凸のある取付面の場合は、シール材でベースパッキンより大き目の平らな面に仕上げてください。
凹凸面にそのまま取付けると、防水性能が損われ火災·感電·故障の原因となります。

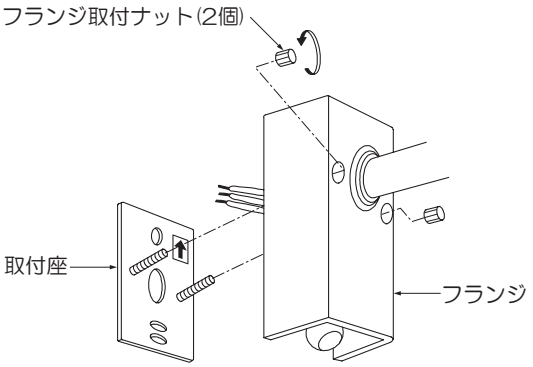


⚠ 警告

厳守	壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。

❷ 取付座を取外す

●フランジ取付ナット(2個)をゆるめて、フランジから取付座を取外してください。

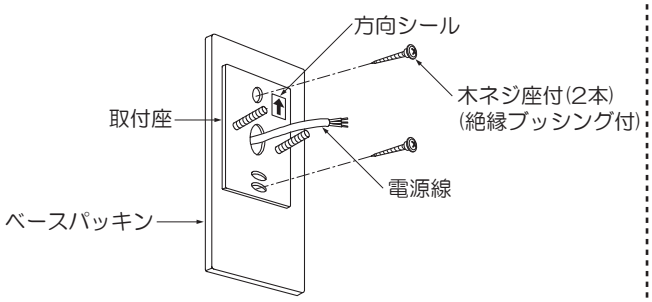


❸ 取付座を取付ける

●取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分ですと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●ベースパッキンの電源穴に電源線を通し、取付面にベースパッキン(両面テープ付)を貼り付けてください。

●取付座の電源穴に電源線を通し、取付座の方向シールに従って、木ネジ座付(絶縁ブッシング)(2本)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



⚠ 警告

取付部、補強材へのねじ込み寸法が、20mm以下の場合、落下の原因となります。

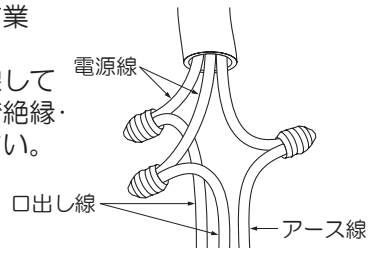
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。落下の原因となります。

❹ 電源を接続する

●必ず電源を切ってから作業してください。

●電源線と口出し線を結線してください。この際、必ず絶縁·防水処理を行ってください。

●アース線を使用して、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。

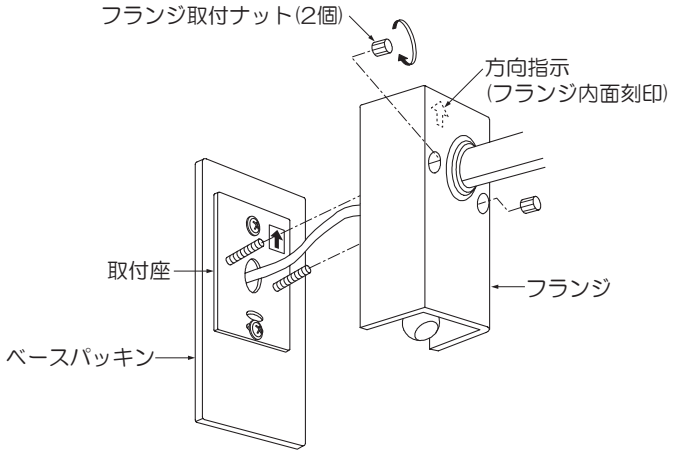


⚠ 警告

結線後、絶縁·防水処理を確実に行ってください。処理が不完全な場合、火災·感電·絶縁不良·漏電の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

❺ フランジを取付ける

●フランジの方向指示に従って、フランジを取付座にセットし、フランジ取付ナット(2個)で確実に締め付け固定してください。

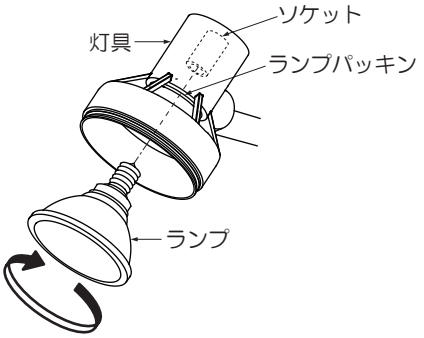


⚠ 警告

取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下·絶縁不良·漏電の原因となります。

❻ ランプを取付ける

●ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。



⚠ 警告

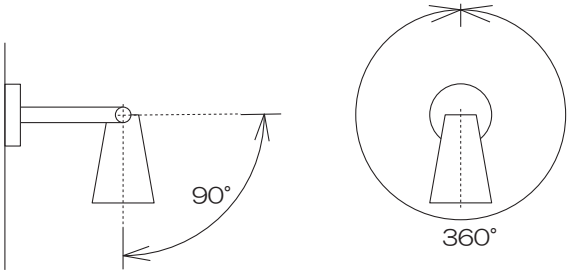
ランプの取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下·絶縁不良·不点·接触不良の原因となります。

❼ 灯具の角度調整

●ツマミをゆるめて灯具を任意の位置まで可動させ、ツマミを締め込み灯具を固定してください。

●灯具可動範囲

首振角度　　回転角度



⚠ 警告

灯具を同じ方向に回転しつづけたり、無理な力を加えないでください。火災･感電･落下の原因となります。

⚠ 注意

点灯中や消灯直後はランプが高温になっていますので、さわらないでください。やけどの原因となります。

❽ 使用前に確認する

●取付状態･点灯状態を確認してください。
(動作確認方法)

①ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

②１)電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

２)その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約5秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。

３)テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時のスイッチ設定は動作設定ツマミが「ON/OFF」、点灯照度設定ツマミが「暗」となっています。

(動作設定ツマミ、点灯照度設定ツマミについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

現　象		考えられる原因		処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	→	電源を「オン」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	→	電源を「オン」にした時は、 約30秒間100%点灯します。
	→	暗いとき 検知範囲内に人以外の熱源がある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど)	→	1.検知範囲を調整する。 (→初めて使う時をご参照ください。) 2.熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する	→	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「**テスト**」になっている。 (約5秒間100%点灯し、その後消灯する。)	→	「点灯照度」のツマミを「**明**」又は「**暗**」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	→	暗いとき 検知範囲内で人が静止している。	→	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	→	暗いとき 雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	→	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
	→	マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	→	
	→	夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	→	
	→	器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	→	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくい時があります。 センサーの検知部を少しだけ左、又は右に回転させてください。

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

! 直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

DAIKO 大光電機株式会社

取扱説明書

OPN4　D　保存用

人感センサー(ON/OFFタイプ)

お客様へ

●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●照明器具の取付工事は必ず工事店･電器店(有資格者)に依頼してください。

工事店様へ

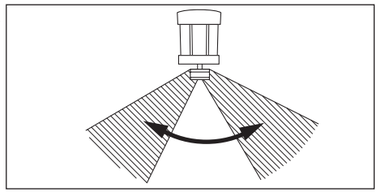
●施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。

●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

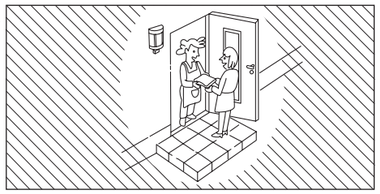
センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(約60秒)経過後、消灯します。
センサー部が可動できるので、照明器具の設置場所やアプローチの状況に合わせて最適な検知範囲を設定できます。
隣家や前面道路などを検知範囲からはずしたい時に便利です。



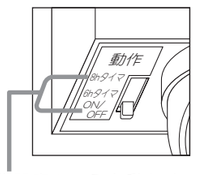
強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



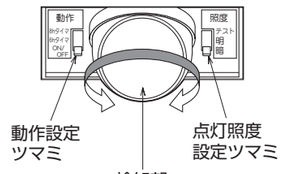
センサー各部の名称

〈左側〉



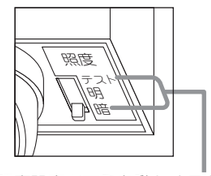
動作設定ツマミを動かすことで「ON/OFF」、「6hタイマ」、「8hタイマ」の3つのセンサーモードが設定できます。

〈正面〉



約270°回転しますので検知範囲の調整ができます。

〈右側〉



点灯照度設定ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさの設定と検知エリア確認(テストモード)ができます。

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P､2を参照してください。)

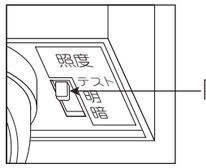
エリアマスク
貼り付け位置

初めて使う時・・・テストモード(検知範囲を確認する)

テストモードにすると、昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後消灯します。

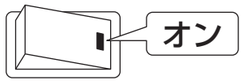
1. センサー右側の点灯照度設定のツマミを「テスト」に合わせる。

〈右側〉



「**テスト**」に合わせる。

2. 壁スイッチを「オン」にする。

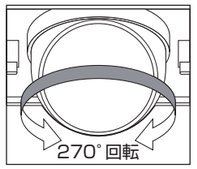


注) 壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

強制点灯(約30秒)後、テストモードになります。
周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。

3. センサーの検知部を動かし、検知範囲を決める。

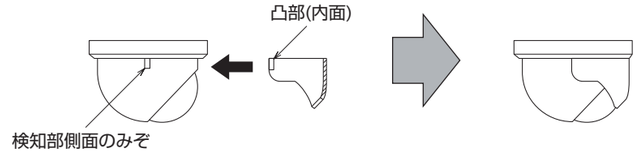
〈正面〉



注) 検知範囲の近くに人や車が通る道などあると、センサーが検知し、ランプが点灯する場合があります。
この時はセンサーの検知部に「エリアマスク」を取り付けて、検知範囲を調整してください。

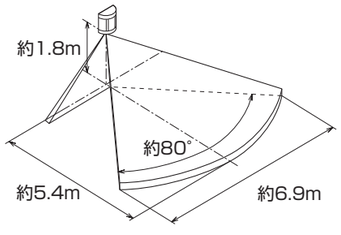
〈エリアマスクの取付方法〉

下図のようにエリアマスクの凸部を検知部側面のみぞにはめてください。



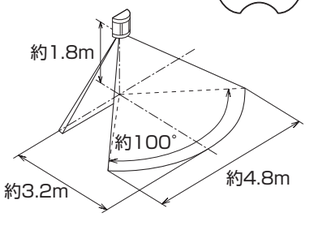
〈センサーの検知範囲〉

検知部を正面にした時



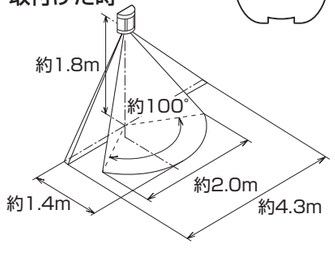
検知部を正面にし、「エリアマスクA」を取付けた時

エリアマスクA



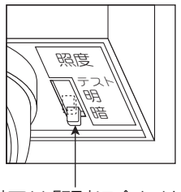
検知部を正面にし、「エリアマスクB」を取付けた時

エリアマスクB



4. センサーが動作する明るさを決める。

〈右側〉



「**暗**」又は「**明**」に合わせる。

センサー右側の点灯照度設定のツマミを「**暗**」又は「**明**」に合わせる。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)
→「**暗**」に合わせてください。

夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)
→「**明**」に合わせてください。

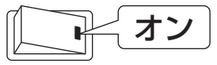
修理を依頼される前に

- ●センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- ●もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
- ●処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象		考えられる原因	処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。 壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	明け方	「点灯照度設定」のツマミが「**明**」になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「**暗**」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
		「動作設定」のツマミが「**8hタイマ**」になっている。	「動作設定」のツマミを「**6hタイマ**」にしてください。
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。 (昼間でも暗い時がある。)	「6hタイマーモード」「8hタイマーモード」でご使用の時は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを点灯させることがあります。 壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
		センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	タ方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「**暗**」になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「**明**」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	暗いとき	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。 (→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。 (→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)
		壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1.センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2.検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの検知部が汚れている。	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

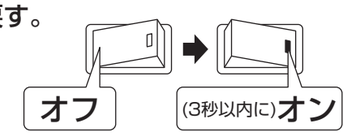
強制ONモードの操作

1. 壁スイッチが「オン」になっている。



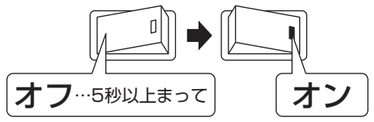
注) 壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

2. 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。



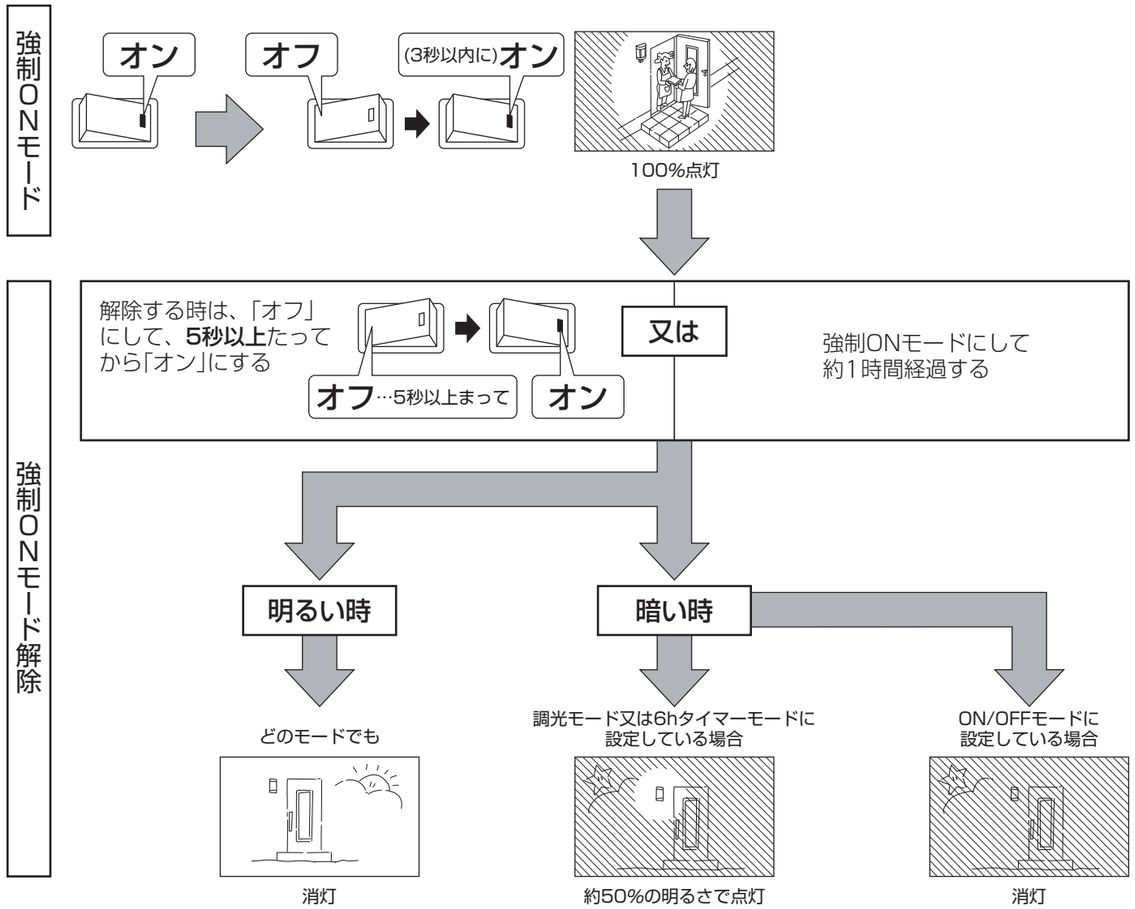
注) 強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約1時間100%点灯します。
その後は設定したセンサー動作モードに戻ります。

3. センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。



注) 壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が1時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

〈強制ONモードの動作〉

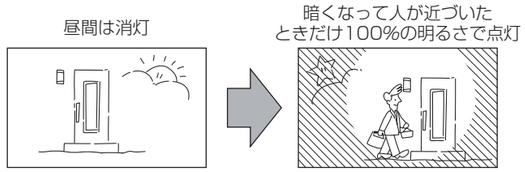


注) 壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

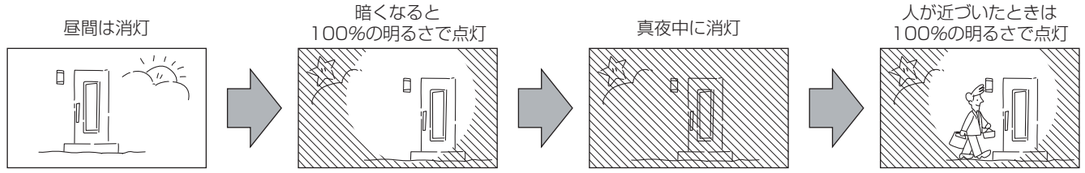
こんな使い方ができます

壁スイッチをONの状態でご使用ください。
「動作設定」のツマミを動かすことで「ON/OFFモード」、「6hタイマーモード」、「8hタイマーモード」で使うことができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

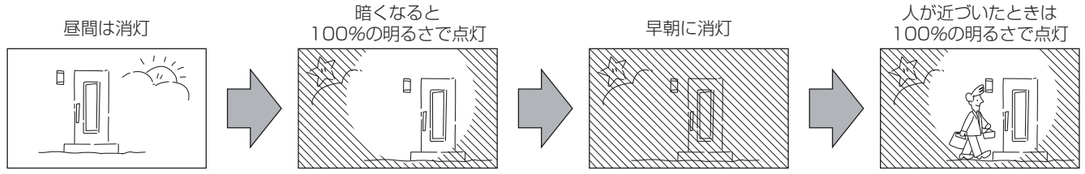
人が来たときだけ明るくしたい → ON/OFFモードの設定へ



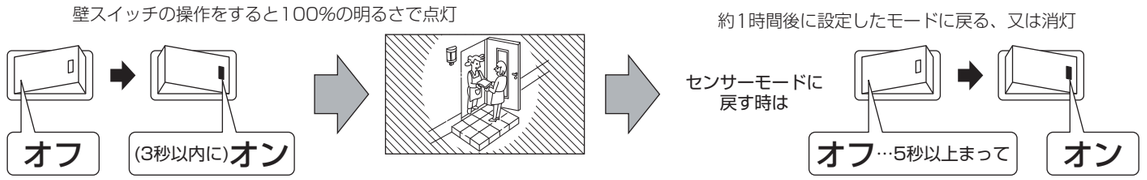
暗くなると自動点灯＋夜中は省エネ＋人が来たときは明るく → 6hタイマーモードの設定へ



暗くなると自動点灯＋早朝まで点灯して防犯＋人が来たときは明るく → 8hタイマーモードの設定へ



好きな時に照明を点灯させたい → 強制ONモードの操作へ



動作設定方法

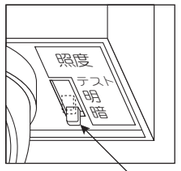
ON/OFFモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注）「**暗**」、「**明**」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

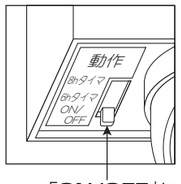
2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「ON/OFF」に合わせる。

〈右側〉



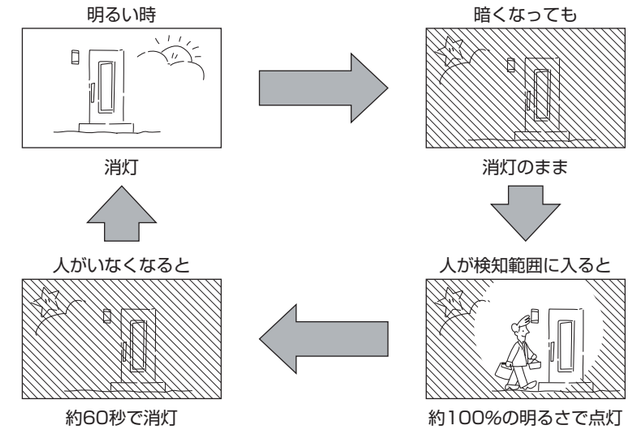
「**暗**」又は「**明**」になっている

〈左側〉



「**ON/OFF**」に合わせる

〈ON/OFFモードの動作〉



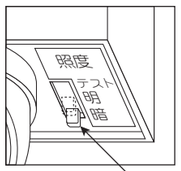
6hタイマーモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注）「**暗**」、「**明**」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

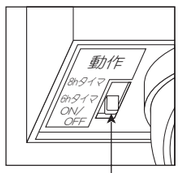
2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「6hタイマー」に合わせる。

〈右側〉



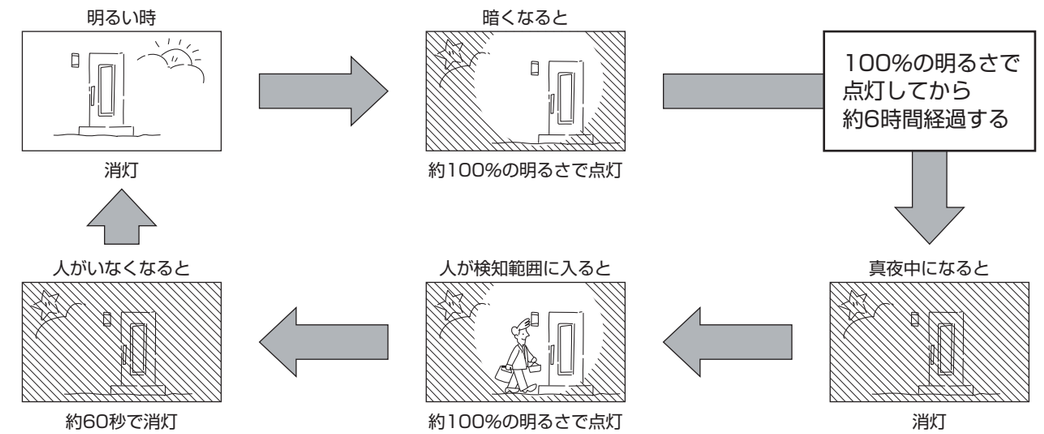
「**暗**」又は「**明**」になっている

〈左側〉



「**6hタイマー**」に合わせる

〈6hタイマーモードの動作〉



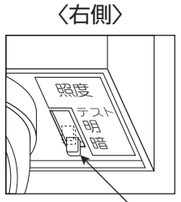
8hタイマーモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注）「**暗**」、「**明**」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

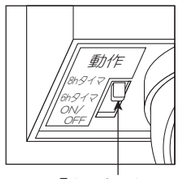
2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「8hタイマー」に合わせる。

〈右側〉



「**暗**」又は「**明**」になっている

〈左側〉



「**8hタイマー**」に合わせる

〈8hタイマーモードの動作〉